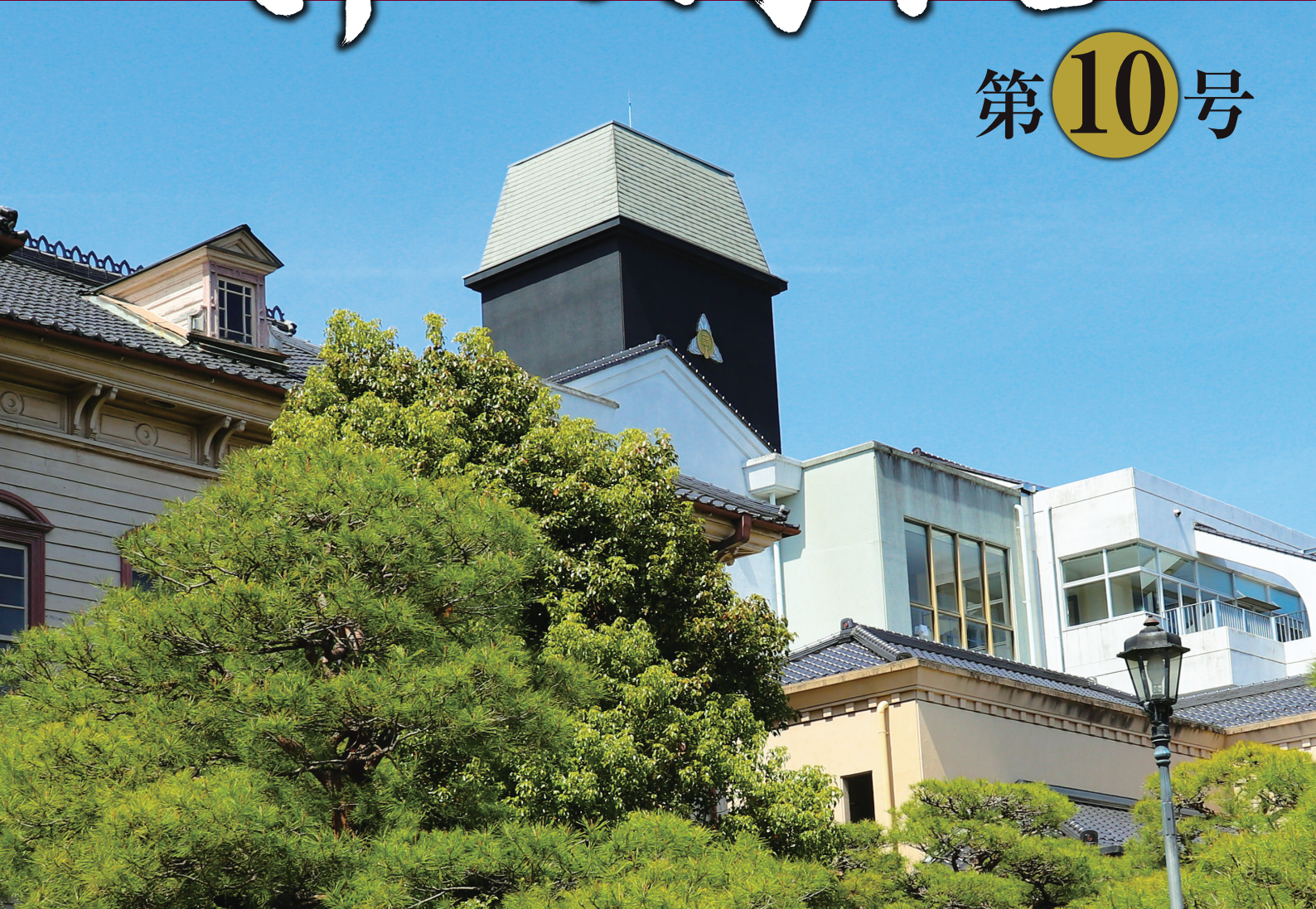


津山高校

第10号



関東同窓会だより

総会報告 総会・懇親会、作品展、つどいの広場、津山高校ニュース、
お世話になりました！、活躍する卒業生、私の履歴書、
作州のニュース、お知らせ、役員・委員一覧、事務局だより

QRコード



<http://tsukou-kanto.com>

総会 2024

岡山県立津山高等学校関東同窓会
2024年度 総会・懇親会

日 時：2024年9月7日（土）
12時～14時30分

場 所：東京大神宮マツヤサロン

参加者：110名

式次第

【総会】

- 1.開会あいさつ
- 2.第一号議案 2023年度活動報告および収支決算報告・会計監査報告
- 3.第二号議案 2024年度活動計画案および収支決算案
- 4.第三号議案 会則の改定
- 5.第四号議案 役員の新任・改選

【懇親会】

- 開会あいさつ
来賓紹介・来賓あいさつ
乾杯
歓談
ゲストトーク
校歌斉唱・写真撮影

総会・懇親会のご報告

関東同窓会会長 中島 純三
共同会長 日下康幸

令和6年度の第67回総会・懇親会は、9月7日（土）に東京大神宮マツヤサロンで開催されました。第1号から第4号までの議案は、例年通りハガキまたはホームページ上で表決していただく方法で行いました。賛成 230、反対3、白票 34 となり、総会での報告によりすべての議案は承認されました。議決へのご参加ありがとうございました。

懇親会は、前年と同様に全員が着席して親睦を深めることができるように準備しました。92 歳の大先輩から 11 か月のお子様まで、110 名の方々のご参加をいただき、皆様それぞれに食事と懇親を楽しめました。恒例の作品展も入り口近くのスペースに素晴らしい作品が展示され、立ち止まって鑑賞される方も多かったように見受けました。若い世代の方3名によるゲストトークも歯切れのよい楽しいトークで会場がたいへん盛り上がりしました。

津山銘菓などの物品販売や、ワインの試飲会も楽しんでいただけたと思います。

二次会にも多くの方に参加いただき、二つの会場を設けることとなりました。近年幹事学年の減員が著しい中、幹事学年経験者や若手の方々のご協力のおかげもあって、当日の運営はスムーズに回ったと思います。改めて皆様のご支援・ご協力に感謝致します。

今年の総会・懇親会は、9月6日（土）大手町サンケイプラザでの開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

津山高校関東同窓会への引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



ご挨拶とお願い

津山高校同窓会長
林 同輔

津山高校関東同窓会の皆様には、日頃より同窓会活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

さて、本校の前身となる岡山県津山尋常中学校が山下の地に開校した明治 28 年から今年で 130 周年を迎えます。また、平成 27 年に開校した津山中学校も 10 周年を迎える節目の年となっており、10 月 31 日に開催予定の記念式典に向けて、現在同窓会・PTA・学校が一丸となって準備に取り組んでいます。

また 130 周年記念事業の一環として「視聴覚教室アップグレードプラン」を立ち上げており、広く同窓会員の皆様にご支援を呼びかけているところです。現在津山高校の生徒たちは日々努力を続けており、「質実剛健」「文武両道」の校風の下、本業の勉学はもとより、スポーツにも全国的な活躍を見せてくれています。

関東同窓会の皆様方におかれましては、なにとぞ本事業の趣旨をお汲み頂き、後輩たちのためにご協力いただけるようお願い申し上げます。



2023年度決算報告・活動報告(2023年4月1日～2024年3月31日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	1,196,000
年会費	663,500
ご祝儀	60,000
預金利息	13
協賛金	150,000
その他(寄付・活動支援金他)	506,601
年度実収入計	2,576,114
前年度繰越金	1,085,102
収入合計	3,661,216

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費	1,489,554
年会費	160,237
印刷費等	272,000
通信費等	477,374
ホームページ運営費	7,852
振込手数料(郵便振込)	28,220
受取人払い(返信ハガキ)	(通信費に含入)
その他(その他)	100,835
年度実支出計	2,536,072
未払金	46,268
翌年度繰越金	1,078,876
支出合計	3,614,948

2023年度津山高校関東同窓会活動報告

- 04/08 オンライン併用・常任委員会
- 05/06 オンライン編集委員会
(会報第8号第4回、初校校正作業)
- 06/03 オンライン編集委員会
(会報第8号第4回、初校校正作業)
- 06/03 新入生歓迎の集い
- 06/24 編集委員会(第8号第6回三校)
- 06/24 拡大役員会
- 08/20 拡大役員会
- 09/02 総会・懇親会(明治記念館)
- 09/28 印刷屋との打ち合わせ
- 10/14 オンライン編集委員会(第9号第1回)
- 10/19 ホームページ・名簿・宛名印刷の打合せ
- 11/06 第5回ゴルフコンペ
- 12/10 正副会長会議兼忘年会
- 03/10 編集委員会打合せ

2024年度予算・活動計画(案)(2024年4月1日～2025年3月31日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	1,200,000
年会費	650,000
ご祝儀	60,000
預金利息	10
協賛金	150,000
その他(寄付・活動支援金他)	200,000
年度収入合計	2,260,010
前年度繰越金	1,078,876
収入合計	3,338,886

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費	1,300,000
新入歓迎会費用	30,000
会議費用	150,000
印刷費等	300,000
通信費	350,000
ホームページ・SNS運営費	40,000
振込手数料(郵便振込)	30,000
その他(その他)	50,000
年度支出合計	2,250,000
翌年度繰越金	1,088,886
合計	3,338,886

2024年度津山高校関東同窓会活動計画(案)

- 04/01 編集委員会打合せ
- 04/06 オンライン編集委員会(第9号第2回)
- 05/16 第6回ゴルフコンペ
- 06/08 編集委員会(第9号第3回)
- 06/08 常任委員会
- 06/09 新入生歓迎の集い
- 09/07 総会・懇親会
(東京大神宮マツヤサロン)
- 9月下旬 編集委員会(第10号第1回)
- 10/29 第7回ゴルフコンペ

岡山県立津山高等学校関東同窓会会則

- (総則)
- 第1条 本会は、岡山県立津山高等学校関東同窓会と称し、略称として津山高校関東同窓会を用いる。本会の設立は、1958年5月26日である。
- 第2条 本会の所在地は、東京都豊島区池袋2-57-2である。
- 第3条 本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に助力することを目的とする。
- 第4条 本会は、その目的を達成するために、次の事業を行う。
- 一 総会・懇親会の開催。
 - 二 会報誌「津山高校関東同窓会だより」の発行。
 - 三 その他本会の目的達成に必要な事項。
- (会員)
- 第5条 本会は、次の各号の者を会員として組織する。
- 一 関東地域在住者で、岡山県立津山中学校・同津山高等女学校・同津山成美高等学校・同津山高等学校の各学校を卒業した者、及び各学校に1年以上在籍し本会に入会を希望する者。
 - 二 関東以外の地域の在住者で、岡山県立津山中学校・同津山高等女学校・同津山成美高等学校・同津山高等学校の各学校に1年以上在籍し本会に入会を希望する者。
- 第6条 本会の会員は、所定の会費(2,000円)を納入するものとする。
- 第7条 本会の事業を妨げ、または本会の名誉を汚すような行為をした者は、役員会の決議によって除名することができる。
- (役員・委員)
- 第8条 本会には、役員、専門委員及び常任委員をおく。
- 一 役員
会長及び副会長11名以内、会長(会長・共同会長)の定員は3名以内とする。
事務局長 1名、監事 2名
 - 二 専門委員
専門委員会を構成する委員として選出し、役員会で承認される。
 - 三 常任委員
原則として各期男女各1名ずつを各期で選出し、役員会で承認される。
- 第9条 会長、副会長、事務局長及び監事は、役員会が推薦し、総会の承認を経るものとする。
- 第10条 会長は本会を代表し、会務を統括する。副会長は会長を補佐し、会長に事故がある時は、副会長の内の1名が会長代行としてこれを代行する。また、会務の円滑な運営のために、必要に応じて副会長の内2名を共同会長に選出することができる。会長代行、共同会長の選出は、副会長の互選によるものとする。
- 第11条
- 一 本会は必要に応じて専門委員で構成される専門委員会(編集委員会、ホームページ委員会、総務委員会など)を設けることができる。各専門委員会の委員長は役員会によって指名された副会長が兼務する。
 - 二 本会の総会及び懇親会などの企画・実行を担う当該年度総会開催担当幹事は、年次を追って引き継がれるものとし、役員会によって指名される。
 - 三 本会は必要に応じて顧問をおくことができる。顧問は、役員会の推薦による。
- 第12条 役員、専門委員、常任委員及び顧問の任期は2年とし、重任を妨げない。
- (会計)
- 第13条 本会の会議は、総会、役員会、専門委員会、拡大役員会及び常任委員会とする。
- 第14条 総会は年1回の通常総会と臨時総会とし、臨時総会は必要に応じて開く。
- 第15条 総会は会長が招集し、決議は出席者の過半数の同意によるものとする。決議には、書面あるいは電子的な方法を用いることができる。
- 第16条 総会は次の事項を承認または決議する。
- 一 事業計画及び収支予算の決議に関する事項。
 - 二 前年度の事業報告及び収支決算の承認に関する事項。
 - 三 会則の変更に関する事項。
 - 四 役員の選任に関する事項。
 - 五 その他役員会で必要と認めた事項。
- 第17条 役員会は、役員により構成され、必要に応じて会長が招集する。
- 第18条 拡大役員会は、総会及び懇親会の準備状況等を主要な議題とし、役員及び当該年度総会開催担当幹事により構成される。会議には関係する専門委員など役員会が指名するメンバーを加えることができ、必要に応じて会長が招集する。
- 第19条 常任委員会は、会務全般にわたる課題を主な議題とし、役員、専門委員、常任委員によって構成され、必要に応じて会長が招集する。
- 第20条 専門委員会は、任務とする課題への対処を主要な議題とし、必要に応じて各委員長が招集する。
- (会計)
- 第21条 本会の経費は、会費・寄付金及びその他の収入をもってあてる。
- 第22条 本会の会計年度は4月1日より始まり、翌年3月31日に終わる。
- (改正)
- 第23条 本会則の改正は、総会の決議により行う。
- (付則)
- (1) 本会則は1958年5月26日より施行する。
 - (2) 本会則は2008年6月14日より施行する。
 - (3) 本会則は2010年9月11日より施行する。
 - (4) 本会則は2012年9月29日より施行する。
 - (5) 本会則は2016年9月24日より施行する。
 - (6) 本会則は2018年9月29日より施行する。
 - (7) 本会則は2022年10月15日より施行する。
 - (8) 本会則は2023年9月2日より施行する。
 - (9) 本会則は2024年9月7日より施行する。



大盛況でした。次回また参

この同窓会がなければすれ違っても分からないかもしれない方と繋がる喜びを皆さん感じて頂きたいです！

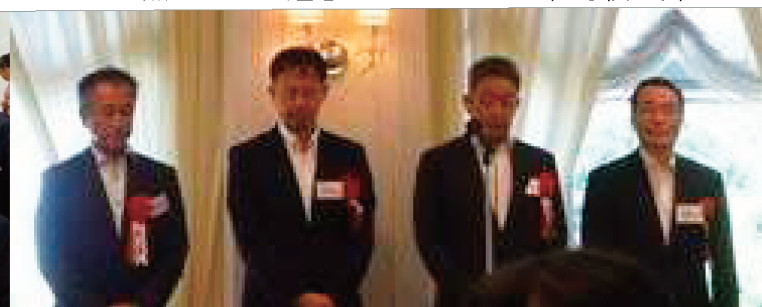


新社会人です。先輩・後輩と交流して多くの刺激を得ることができました。

岡山県立海
関東



新たなご縁を求めて東京大神宮で開催しました。色々至らぬ点もありご迷惑をかけましたが、母校・郷土を思



来賓：植月事務局長

大本教頭

滝澤校長

林同窓会会長

加したいです



椿が丘での日々を思い出し、明日からの英気を養いました



色々活躍するOBOGに会えた！
卒業しても楽しい津高！！



世代を超えた繋がりを感じられるとても温かい時間でした



思う皆様に支えれ、無事に実行できました。大変ありがとうございました。＜第50期生（平11卒）幹事一同＞



色々な年代の方が集まり、皆で思い
を馳せる時間がとても貴重でした！



中島会長 日下共同会長

※ 吹き出しのコメントは関東同窓会の Facebookのページ等に寄せられた参加者のコメントから抜粋しております。

作品展 2024

絵画・水墨画・水彩画・書道・陶芸等、同窓生の作品が展示されました。

当日の展示風景



作品名(雅名)	卒業年	種別
片岡 廣治郎	昭 35	陶芸
保田 扶佐子	昭 36	絵画「或化石(あるかせき)」
竹内 元章	昭 42	絵画「飲茶のひととき」 「ベレー帽の女(ひと)」
松井 陽子	昭 48	水彩画「初音」
水田 潤子	昭 46	絵画「New York」
小原 幸恵	昭 48	書道 「金子みすゞ「積もった雪」」

作品名(雅名)	卒業年	種別
松本 真理子	昭 48	アクリル画「Yves Piaset」 「Super Moon」
竹久 龍二	昭 51	色鉛筆スケッチ 「8月29日のヒマワリ画」
河本 倫子	昭 54	絵画「青のレイクイエム」
早瀬 有里	昭 63	不透明水彩画「聖夜のお月様」
故 増田 美子	昭 37	葬送儀礼と装いの比較文化史、 日本葬送文化史、 ビジュアル日本の服装の歴史
中尾 有里	昭 63	虹

作品展では、2024年8月10日に逝去された増田美子氏(前会長・学習院女子大学名誉教授)の著書も展示されました。その1冊「日本喪服文化史」(2022年 東京堂出版)は、葬式における日本人の服装について、古代縄文時代から明治時代以降まで継承され続けて来た衣装(死装束、喪服など)および葬送儀礼の歴史を、様々な資料などを示しながら解説。葬送儀礼にともなう装い―「死装束・喪服」を形式的側面からみることにより、日本人の死に対する意識を明らかにしたものです(本誌15頁もご覧ください)。



当日は同窓生から多数の作品をご提供いただき、作品展も盛大に執り行うことができました。
紙面に載せきれなかった作品の写真につきましては、関東同窓会HP上にて公開しています。



作品展写真は
こちらのQRコードから!

NHK 会友

中村 宏

津山高校いざよう会 (11 期)

昭和 35 年卒

一般社団法人 進化経営学院

創設の辞

逆境練機 転原自在

経営進化 互惠共栄

代表理事 黒田悦司

〒 311-3508 茨城県行方市沖洲1543-10

☎ 0299-57-0377

URL <http://rinen.gr.jp/>

昭和 37 年卒

空調周辺機器総合メーカー

UCAN. UCAN CO.,LTD.

代表取締役 安 藤 馨

ユーキャン株式会社 加温器、全熱交換器、ドレン処理機

本 社

〒193-0832 東京都八王子市散田町5-6-19

TEL042-665-8846 FAX042-661-3887

(携帯電話 090-3192-2631)

URL <http://www.ucan.co.jp/> E-mail : i_ando@ucan.co.jp

昭和 39 年卒

津山高校1967年卒18期の同期生有志15人が昨年11月に津山、岡山、京都と東京の4か所から集まり、福井県三方(若狭湾畔)と滋賀県長浜(琵琶湖北国街道沿い)に2泊3日の旅行に行ってきた。多くは5年ぶりの再会で、全員が既に後期高齢者になっていましたが、これからは光輝高齢者になって次回もやろうと話合って別れました。

山本剛(津高18期・昭42卒)



1992年3月、関東同窓会の副幹事年として関東在住の43人の同期が集まったところから始まった22期です。コロナ禍の時期は一時中止しましたが、2023年から再開して、今回は第32回。初参加の2人を迎え30人の参加となりました。最後に校歌斉唱をして、懐かしい時間を過ごしました。

植月雅文(津高22期・昭46卒)



春節を前にした横浜中華街、今年も1月25日に神奈川県在住の同窓生を中心にした新年会を「菜香新館」にて開催しました。26期から45期の19名が集い、懐かしい話に花が咲きました。また来年もお会いしましょう。

田和一樹(津高26期・昭50卒)



関東圏に進学した大学生同士で集まる会を開催しました。2回にわたって行われ、全部で9名が参加しました。津山高校での懐かしい思い出話から、東京での生活や大学での近況まで、話題は尽きず大いに盛り上がりました。津山高校でつながった仲間がそれぞれ東京で頑張っている姿は大きな励みとなり、これからの支えにもなっていくそうです。

岡田怜也(津高73期・令4年卒)



新入生歓迎の集いが開かれました

2025年5月31日(土)17時半より、池袋のcafe & bal No.8 Co.で2025年春高校卒の新入生歓迎会が行われました。当日は、新入生5名を含む、41名が参加。若手を中心に色々な年代の方に参加いただき、二次会、三次会(カラオケ&ラーメン)と終電まで飲む大盛会となりました。一部のOBOGの皆様には多額の寄付を頂き、本当にありがとうございました!また、社会人2年目の70期垣内君は幹事大変お疲れ様でした。優秀な若手に未来を感じました。津山高校は永遠です!

小谷匠平(津高50期・平11卒)



カフェ・バー
GORI

藤本 宣
礼子

東京都新宿区新宿 1-17-11 大洋ビル 1F
TEL. 03-3353-1294

昭和 41 年卒

中島農園

代表 中島 純三

メール: jnhk2050@live.jp

昭和 42 年卒

IDR The Institute of Marketing & Distribution Research
アイディーアール 一般社団法人 流通問題研究協会

(社) 流通問題研究協会 副会長
青山学院大学 名誉教授
三村 優美子

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8
機械振興会館 4F
Tel: 03(3436)1686
Fax: 03(3436)1690
E-mail: mykayama987@sweet.ocn.ne.jp
http: // www.idr.or.jp/

昭和 44 年卒

関東同窓会の皆様におかれましては、平素から本校教育活動の充実と発展に格段の御理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は令和5年4月に校長として本校に赴任し本年で3年目を迎えています。実は津山高校での勤務は2度目で、最初の勤務は理科科開設3年目に当たる平成9年でした。当時は創立100周年の記念事業を終えた直後だったと記憶しております。当時建設途中だった新校舎も完成し、それから早30年近くの年月が過ぎ、本年度は津山高校創立131年目、県北初の中高一貫校としてスタートした津山中学校も創立11年目を迎えております。

また、津山高校は平成24年に文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けてから今年で14年目となります。現在は、「高い専門性とグローバルな視点を兼ね備えた次世代トップサイエンティストの育成」を目指し、3つの資質、「グローバルな視点で将来を見通す力(Vision)」「協働しながら最後までやり抜く力(Grit)」「様々な科学的手法で課題解決に向け探究する力(Research Mind)」という「V・G・R」の育成に取り組んでいます。

学校の近況ですが、令和7年3月、76期生229名が卒業し、関東方面には約20名の者が進学しています。また今年度より、学校行事では昨今の猛暑を考慮し、十六夜祭を3週間ほど遅らせ9月末に実施、それ

岡山県立津山高等学校 校長 滝澤 浩三

に伴い、秋に実施していたウォーキング大会を5月上旬に変更しました。令和の時代に入り、猛暑や新型コロナウイルス感染症拡大への対応、また、急激に進んだ情報化の波に翻弄されながら教育活動を行っておりますが、津山高校の校訓『畏天敬人』のもと、「質実剛健」・「文武両道」を校風とする姿勢は今も昔も、そしてこれからも変わりはありません。

さて、本年10月31日(金)、津山高校創立130周年・津山中学校創立10周年の記念式典を実施いたします。また、式典後には、前日弁達会長の小林元治氏(高21期)による記念講演会を予定しております。合わせて、記念事業として「視聴覚教室アップグレードプラン」を計画中です。

今後とも母校の発展のため、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。



令和7年度入試合格状況

国公立	埼玉	東京外国語	横浜国立	信州	静岡	名古屋工	滋賀	京都	京都教育	京都工芸繊維	大阪	大阪教育	神戸	奈良女子	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	鳴門教育	香川	愛媛	高知	九州	鹿児島	山梨県立
	1	1	1	2	4	2	1	2	1	1	6	2	4	1	16	11	28	7	2	2	1	7	6	2	5	1	1
	名古屋市立	兵庫県立	和歌山県立医科	島根県立	新見公立	岡山県立	県立広島	周南公立	高知工科	北九州市立																	
	1	1	1	3	1	4	1	1	2	1																	
国公立大学 計 134																										国公立大医学科 計 7	

私立	酪農学園	東北医薬	青山学院	学習院	共立女子	国学院	駒沢	芝浦工業	上智	成城	中央	東海	東京経済	東京農業	東京理科	東邦	東洋	日本	法政	星薬	武蔵	武蔵野	明治	立教	麻布	神奈川	朝日
	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	3	3	2	4	2	4	2	2	1	2	1	2	4	4	1	2	1
	豊田工業	藤田医科	名城	長浜バイオ	京都産業	京都女子	京都橋	京都薬科	同志社	同志社女子	佛教	立命館	龍谷	大阪医薬	大阪経済	大阪工業	大阪産業	大阪体育	関西	関西外語	近畿	摂南	森ノ宮医療	関西学院	甲南	神戸学院	神戸女子
	2	1	1	1	18	3	1	2	28	1	10	32	20	2	1	3	1	1	16	8	45	1	1	21	6	2	2
	神戸薬科	神戸親和	武庫川女子	関西福祉	神戸常盤	天理	奈良	岡山理科	川崎医科	川崎医療福祉	倉敷芸術科学	くらしき作陽	山陽学園	就実	清心女子	美作	環太平洋	広島工科	福山	安田女子	四国	徳島文理	松山	九州産業	久留米	福岡	
	2	2	7	5	1	3	5	22	1	11	1	1	1	21	9	6	3	1	3	8	1	1	3	3	1	3	

準大学	防衛大学	短期大学	川崎医療短	専門学校	岡山医療附属	津山中央看護	岡山県理美容専門
	1		1		1	1	1

(2025年5月提供)

美作三湯・奥津温泉
名泉鍵湯 **奥津荘**
女将 鈴木和枝
〒708-0503 岡山県苫田郡鏡野町奥津48
電話 (0868) 52-0021
FAX (0868) 52-0608
http://okutsuso.com
E-mail info@okutsuso.com

かふえ花音
江田実子
〒708-0046 津山市西今町 64 tel.0868-35-2919
8:00~18:00(水曜日休み)

代表取締役会長
OTSUKI TAKAYUKI
大月 隆行
E-mail: t-otsuki@landes.co.jp
「ハレーサルト」
創業 1972年
本社 岡山県津山市曙町630-1
東京営業所/東京都新宿区新宿1-4-13 清見木第2ビル5F
仙台営業所/宮城県仙台市青葉区本町1-13-32 t-02 0511号室

昭和 46 年卒

昭和 48 年卒

昭和 48 年卒

大切にしていること

プロフィール

昭和51年 津山高校卒業(27期)
昭和55年 京都大学理学部卒業
昭和55年から平成30年まで、岡山県立高校で勤務
蒜山高校、林野高校、津山高校、落合高校教諭
岡山城東高校、勝間田高校、津山工業高校教頭・
副校長
退職後は農業、保護司を中心に地域の世話役な
どをしている



藤岡 康弘氏

昨年、8年ぶりに津山高校の27期同期会を開催した。関東から
も参加していただき、積もる話に時を忘れて興じた。また、偶然
人間ドックで出会ったことがきっかけで、野球部の教え子数名と
ゆっくり話す時間が持てた。偶然は重なるもので、野球部のOB会
長を拝命することとなり、母校に足を運ぶことが増えた1年だった。

教員としては、平成3年から16年まで13年間お世話になった。
34歳から46歳まで、数学と野球の指導を中心に充実した時間を
過ごさせていただいた。生徒のよき伴走者でありたいと思って努
力していたが、実際には、どれだけできていたのだろうか。

平成30年に定年で退職し、わずかばかりの農業をしながら過
ごしている。地域の世話役が回ってきたり、保護司を頼まれて引
き受けたりと思ったより忙しい。57歳ごろから始めた風景と野草
の写真撮影や、退職後復活した合唱、数学の専門書の読書など趣
味にも力が入っている。写真については、「アメーバブログ 花と
風景(bon)」を検索してみたい。

写真を撮るようになってから、今まで見えなかったものに気
づくようになり、自然の本当の美しさがより強く感じられるよう
になった。また、保護司の先輩方の寛容さと粘り強さ、物事のとらえ
方の深さや広さには本当に頭が下がる。やはり、物事の本質を
しっかり見ることは大切であると思う。

同年代の皆さん、教え子の皆さん、またお会いしてお話しで
きる機会があれば大変うれしいです。

最後になりましたが関東同窓会のますますのご発展を祈念い
たしております。

(ふじおか・やすひろ)

椿高下での思い出

プロフィール

1990年3月 津山高校卒業(41期)
1994年3月 名古屋大学理学部数学科卒業
1994年4月 作陽高校、津山東高校、
福渡高校で勤務
2005年4月 津山高校で勤務
2015年4月 津山中学校で勤務
2019年4月 再び津山高校で勤務
2023年4月 鳥城高校教頭



和田 康宏氏

私は2005年4月に津山高校に赴任し、津山中学での4年間も
含めて18年間勤務しました。高校時代の3年間を合わせると21年
間、これまでの人生の約4割を椿高下の地で過ごさせていただく
という幸運を授かり、赴任当時は33歳だった年齢も、転勤する頃
には50歳を過ぎていました。

在任中は数学、野球など、生徒たちと楽しい日々を過ごすこと
ができました。また、学年主任として引率した関東への修学旅行
では、同窓生の方々のお力添えのもと充実した企業・大学訪問を
実施できたことが印象に残っています。大きな可能性を秘めなが
らも比較的控えめな地方の若者たちが刺激を受け、グンと視野
を広げていく意義深い経験に、津山高校だからこそその人のつな
がりのありがたさを強く感じた次第です。

2015年からの4年間は、新設の津山中学の立ち上げに関わる
ことができました。少子化の昨今、学校を閉じることこそあれ、
新しい学校を作ることにはなかなか経験できるものではなく、大変
幸運であったと感じております。新しいことが決して得意ではな
い私ですが、津山中学初代教員団の一員として働いたことや、
津山東高校硬式野球部と津山中学軟式野球部で2度までも初代
監督を務められたことにはただただ感謝あるのみです。(20点以
上の失点も日常茶飯事でしたが。)2025年春には津山中学出身
者が初めて大学を卒業しました。今後とも津山中学からの進学生
と他の中学からの入学生が津山高校において融合、切磋琢磨しな
がら力をつけ、広い世界で大いに活躍することを願ってやみません。

津山高校と津山高校同窓会のますますの発展をお祈り致します。

(わだ・やすひろ)

社会福祉法人 江原恵明会

理事長
江原 秀国

〒708-0884 岡山県津山市津山口 306
TEL:0868-23-2738

美咲町町制施行20周年
(旧旭町・旧中央町・旧穂原町)
寄附募集中!
ご協力をお願いいたします

企業版ふるさと納税 ふるさと納税

〒709-3717
岡山県久米郡美咲町原田2144-1
美咲町役場 みさき共創室
0868-66-1660
kyoso@town.okayama-misaki.lg.jp

額田・井口法律事務所

額田 洋一

NUKADA & IGUCHI Law Office

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-7-15
市ヶ谷クロスプレイス 6階
TEL: 03-3267-3201 FAX: 03-3267-3202

夢を仕事にすること



頃安 祐良 氏

(津高54期・平15卒)

プロフィール

1984年生まれ。日本大学芸術学部を卒業後、映像制作を開始。自主映画『あの娘、早くパパアになればいいのに』が話題となり映画館でロングロードショーとなる。

最近は乃木坂46や日向坂46のmusic videoなどを制作する一方で「Qrosの女」「やわ男とカタ子」などのドラマ作品の演出を手がけるなど活動は多岐にわたる。最新作は関テレにて4月より放送された「MADDER その事件、ワタシが犯人です」。

大学進学のために津山から上京したのが18歳の時。早いものであれから22年が経過した。もう東京にいる暮らしの方がすっかり長くなってしまった私は現在、映像制作業界の片隅でフリーランスの映像監督として細々と生活している。

依頼された執筆内容が【津山高校の同窓生に最も伝えたいこと】というお題なので、何を伝えたら良いのか…かれこれ一晩中悩んでいる。私の主な仕事はテレビドラマの演出をしたり、女性アイドルのミュージックビデオを監督する仕事だ。仕事柄、自分より若い俳優やアイドルたちと仕事をすることが多い。そして若い俳優たちからの進路の相談に乗ることも多い。俳優として夢を叶えるには？監督として作品を撮り続ける為には？など、夢や進路についての相談が最近増えてきた。そう言った若い現役高校生に向けた寄稿なら楽だったのに…など少し思ってしまう。

とはいえ、私が思っているのは、津山という小さな街で生まれたただの映画好きの少年が夢だった映像の監督として未だ活躍できているのは、津山高校で過ごした高校生活があったからだと思っている。私は真面目な生徒…【ではなかった】。恐らく今まで寄稿した方々の中でもトップクラスに成績が低い生徒だったと思う。数学で0点を取ったこともあるし、部活にも行かず、毎日放課後はすぐに学校を後にしていた。私が今の職業に就きたいと思ったのは高校1-2年生の頃。クラスメイトたちが大学などの進路を考え始めた頃だった。皆が勉強に舵を切るなか、私は放課後に毎日のように上河原のTSUTAYAに行き、映画のビデオを借り、明宝や錦映などの映画館に行っていた。(残念ながら全て閉館してしまったが…)。学校の成績は毎回最下位付近だったけども、映像に関しての成績は津山高校でトップだったと思う。それくらい自分の進路(夢)に



向かってまっすぐ突き進んだ高校時代だった。そんな自分の夢を否定せず、勉強しろとキツく言わず応援してくれた津山高校の先生方にはとても感謝している。特に2年生の時の担任だった菱川先生には「やるなら思いっきりやれ」と進路相談の際に言われたことは今でも鮮明に覚えている。

あれから20年ちょっと、まだずっと映画館に通ったり家で映像の勉強をしたりと、あの当時と変わらない生活が続いている気がするが、当時自分の夢を否定されなかったあの高校時代があったからこそ、仕事として今でも続けてられているのだと思う。この場を借りて「ありがとう」と伝えたい。

(ころやす・ゆうすけ)

明治24年以来の歴史を刻む岡山県出身者の寮

- 冷暖房完備、広い個室、スポーツ施設併設
- 2食付で安い寮費など、学生生活環境が整っています

公益財団法人 鶴山館

〒202-0013 東京都西東京市中町5-10-8
☎ 042-422-5951



岡山県 奈義町

みらいを、繋り越せ
奈義町



PR動画はコチラ



作州会計 sakushu.jp

経済産業省認定経営革新等支援機関

代表 税理士 松田 匡司 Masashi Matsuda

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目6番7号
TEL/FAX 03-4288-8827
Email matsuda@sakushu.jp



俳優になりたいと言えなかった 津山高校生の、今のお仕事

宇田 奈々絵 氏
(津高67期・平28卒)



プロフィール

1997年生まれ。
日本大学芸術学部演劇学科にて4年間演劇を学ぶ。
本多劇場や東京芸術劇場をはじめとした舞台に20本程度出演。
舞台俳優と並行しPococha及びTikTok LIVEで活動。
最高ランキングは日本2位。
現在は裏方に回り、舞台俳優に特化したライブ配信サポート事務所を運営。

津山高校に入学した当時「お芝居をしたい」という気持ちをひた隠しに日々を過ごしていました。この田舎から東京に行き、舞台に立つイメージが全く描けなくて、口にするのも怖くて。でも他に、将来の目標もなければ進学する理由も見つからず、授業も「何のためなんだろう」と身に入らない日々。目的なく、ただ時間が過ぎるのを耐える人生が苦しくて、学校にも行けなくなりました。

そんな私が変わったのは、演劇学科のある大学を目指す決めた時。自分のやるべきこと努力することがクリアになり、毎日が輝きました。先生方には、勉強以外にも、演技・歌・ダンスなど特殊な入試対策までご尽力いただいたおかげで、志望校に合格することができました。舞台現場も大学生活も本当に楽しくて「学び、訓練し、人に届ける喜び」を初めて知りました。

しかし、現実には厳しくお芝居だけで食べていける人はほんの一握り。みんな複数のバイトを掛け持ちながら、稽古やオーディションに奔走していました。俳優の能力と一切関係ない「食べるための仕事」で疲弊し、挫折していく仲間もたくさん目にしました。

そんな中、縦型ライブ配信アプリとの出会いにより転機が訪れます。スマホ1台で、場所や時間にとらわれず、俳優の能力を活かして発信できる。ファンを獲得しながら収益を得ることで、舞台を続ける不安はかなり減りました。

2024年には国内だけで1000億円規模まで成長したライブ配信市場。ファンや知名度を獲得できるだけでなく、スポーツ選手並みの収益を得るライバーもいます。場所と時間を問わないので、津山にいても、俳優のように夢を追いながらも、子育て真っ最中で家から

出られなくても、スマホさえあれば人気ライバーになることは可能です。

ここ数年、生成AIの発達や会社業務のDX化により固定時間で決まった勤務をすることよりも、機械ではできない、感情を使ったり、意思決定をしたり、作業ではない人間らしいお仕事の価値が上がっているのかなと思います。副業も一般化し従来より自由な働き方ができるようになった一方、能力や実力がより評価される時代になってきたのではないのでしょうか。

そんな時代だからこそ、今の私は「ライブ配信者のプロデュース業」をしています。俳優としての能力や実力を活かし、収益を得ながらファンを増やす、お手伝いの仕事です。目的や目標を見失う苦しみを体験したから、かつて私が助けられたライブ配信を通じて「好きなことを続けられる人」を増やしたい。それが今の私の使命です。

生き生きと活動する俳優ライバーを増やし、皆様のエンタメライフに貢献できるよう、今後とも精進します。

(うだ・ななえ)



ライブ配信でのギフトが飛んだ瞬間



AZ DENTAL CLINIC
アズデンタルクリニック
常盤

歯科医師 **樋口 暢子**
Yoko Higuchi

T 151-0073
東京都渋谷区笹塚2-1-12
tel : 03-3377-5511
e-mail : y.higuchi@azdent.biz

www.azdent.biz

平成 11 年卒

明治十一年創業
中島病院

五代目 **中島 弘文**

T 708-0052
津山市田町122
電話 (0868) 22-8251
g-naka@ra3.so-net.ne.jp

平成 4 年卒

医療法人社団 昌慶会
井上歯科医院

理事長 **井上 修輔**

〒708-1204 津山市日本原 188-1
TEL 0868-36-5520 FAX 0868-36-5520

平成 12 年卒

今となっては色弱のおかげ

野々上 尚 氏

(津高25期・昭49卒)

プロフィール

1955年5月 岡山県津山市に生まれる
1974年3月 津山高等学校卒業後、東京大学法学部を経て
1979年 司法試験合格
1982年 東京地検検事任官
2014年 公安調査庁長官
2016年 福岡高等検察庁検事長
2018年 防衛省防衛監察監
2021年 弁護士登録
2023年 総務省政治資金適正化委員会委員長



高校時代は物理部天文班に所属し、天キチを気取っていましたが、色弱のため当時は色々制約があり、結局法学部に進学しました。そのまの勢いで司法試験を受験し、司法修習を経て昭和57年東京地検検事に任官しました。

その後、地方勤務を経て平成2年に法務本省勤務となり、平成4年12月12日、第2次宮澤内閣発足とともに、後藤田正晴法務大臣の大臣秘書官に任命されました。大臣秘書官というのは、国家行政組織法に規定された正式な官職名で、いわゆる「秘書」ではありませんが、大臣のお側で仕えるので、「公の秘書」というのが実態に即していると思います。大臣に連絡を取るときには「先ず秘書官に」がルールとなっていたため、省内だけでなく、閣僚や外国大使などから私の携帯によく直接電話が掛かってきました。大変貴重な経験となりました。

その後、検察の現場と本省勤務を繰り返し、公安調査庁長官を経て、福岡高等検察庁検事長を最後に平成30年3月検察官を退官しました。人の非違を糾す職務であるだけに多くの批判に晒される場面もありますが、行動原理はシンプルで、独立性も保証され、恵まれた仕事であったと思います。

検察を退官してまもなく、防衛省防衛監察監に3年間の任期で採用されました。防衛大臣の直下で自衛隊のコンプライアンスを監督する職で、検察官の職務に似通っていますが、強制的な調査権を有しないため、多少戸惑った点もありました。

それでも、監察をする時には現場の苦勞を知っていただいたいという気持ちからでしょうが、多くの自衛隊の現場に接する機会が提供されました。中でも、戦車の実射訓練、ジェット戦闘機の飛行訓練(F1

5戦闘機後部座席に2時間搭乗、マッハ1.4を体験)、対潜哨戒機による警戒監視活動、潜水艦の潜水訓練等に同乗させてもらい、その迫力に圧倒されました。東シナ海には、東西を問わず多くの外国軍艦が航行しており、それを間近に見ると、やはりただならぬ緊張感を感じました。なかなか公にはされない情報ですが、もう少し公開されてもいいかもしれませんね。

防衛監察監を退任して令和3年弁護士登録をし、現在先輩の事務所でお世話になっております。

私の経歴ですと、やはりコンプライアンス関係の仕事を時々頼まれますが、さほどの依頼があるわけでもなく、公務員の現役時代と比べると、相当時間に余裕のある日々を送っております。

弁護士の仕事は、依頼者が喜ぶ結果を得ることができた場合は直接喜びを共有できるので、大変やりがいがある仕事と感じております。しかし、一民間人として誰の庇護も受けないので、その責任はもっぱら自身が負わなければなりません。弁護士は長年法廷で対峙していた相手ですが、今更ながらその苦勞を肌身に感じております。なお、公職としては、総務省政治資金適正化委員会委員長を唯一非常勤の職として続けさせていただいております。

政治資金適正化委員会は、政治資金監査を担う弁護士、公認会計士、税理士に係る政治資金監査人の登録、監査マニュアルの制定・研修等を行っています。しかしながら、昨今の問題を受け、個別案件の調査などもっと強力な調査権限を有する機関を新たに設けるべきでは、という議論がなされています。政治活動の自由に関わる大きな問題であり、皆さんにも議論の行方を注視していただきたいと思います。

(のうえ・たかし)

宇宙一おせっかいな
IT/DXコンサルです

43期 日下康幸
アストロラボ株式会社

乃木坂駅前
info@astrolab.co.jp

備品管理クラウド
消耗品管理クラウド
契約書クラウド

QRコード
YouTube
知って得する
DXに関する情報を
配信!

平成4年卒

弁護士 野々上 尚

〒104-0031
東京都中央区京橋2-12-3
京橋センタービル6階
上田 廣一 法律事務所
TEL・FAX 03-6228-6440
E-mail t-nonoue@uk-lawgroup.jp

昭和49年卒

代表取締役 / オーナーシェフ
フードプロデューサー
難波 秀行
Hideyuki Namba
namba@petaledesakura.com

レストラン ペタルドゥ サクラ
株式会社 さくら喫茶
〒245-0008 横浜市泉区弥生台5-2
Tel.045-443-5876
Fax 東京キッパン 直通電話 Tel.045-443-5874
www.petaledesakura.com

平成4年卒

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」が開催されました！

～自然とアートが織りなす 心癒される特別な時間～



岡山県北12市町村を舞台に初めて開かれた森の芸術祭は、金沢21世紀美術館館長の長谷川裕子氏をアートディレクターに、アートを切り口にした新たな視点で地域の魅力を引き出し、豊かな自然の恵みとアートの融合による「わくわく感」「ときめき」を楽しむイベントとして開催されました。2024年9月28日～11月24日の約50日間にわたった本芸術祭には、延べ約52万人が来場。地域作家を含めた世界12ヶ国42組のアーティストの作品は、津山市の2エリア10会場へも展示され、多くの来場者がエネルギーを養い、リフレッシュの場となりました。

津山市内の会場を循環する
森の芸術祭専用「アート循環バス」
も無料運行しました。
期間中、延べ4,492人の方に
ご利用いただきました。



ここに
注目！

津山城周辺エリア



会場 津山城
作品 アシム・ワキフ
《竹の鼓動》

竹を使った高さ5mを超える大型
インスタレーション



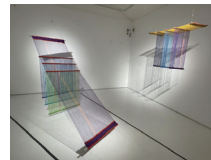
会場 津山まなびの鉄道館
作品 キムスージャ
《息づかい》

回折格子フィルムを用いた光の
インスタレーション



会場 つやま自然のふしぎ館
作品 ソフィア・クレスポ
《危機的な現存》

AIアルゴリズムを用いた絶滅危惧
種のイメージ生成を試みた作品



会場 PORT ART&DESIGN
TSUYAMA
作品 パオラ・ベザーナ 展示風景

手仕事と柔らかで繊細な糸に
よって豊かさを放つ作品

グリーンヒルズ津山エリア



会場 グリーンヒルズ津山
作品 エルネスト・ネット《スラッグバグ》

リサイクル繊維で作られた網が天蓋のよう
に設置されたインスタレーション



ハレノクニ弁当

会場 衆楽園
作品 リクリット・ティラヴァニ
《無題2024(水を求めて森を探す)》

大型暖簾のある空間の中、
観客が共に食事をするプロジェクト



会場 城西浪漫館
作品 ビアンカ・ボンディ
《森林浴》

ハーブや苔が配置され、空間
全体が森の香りに満ちた展示



会場 城東むかし町家
作品 片桐功敦
《風土》

津山市産の小麦を大量に
使用したインスタレーション



会場 作州民芸館
作品 ムハンナド・ショノ
《意味を失うことについて》

ロボットが砂の上を動き、さまざま
文様が描かれては上書きされる作品

ここに
注目！

こちらの「津山
ピンポン広場」
の卓球台は、
レガシーとして、
常設展示され
ます。ラケットと
ピンポン玉を
持参して、アート
な体験を★



会場 城下スクエア
作品 ジャコモ・ザガネッリ
《津山ピンポン広場》

卓球を介して、地元住民が交流
できる場を作り出すプロジェクト

津山市ゆかりのアーティスト



会場 城西浪漫館
作品 万華鏡、ホイール、映像

江見正暢氏
1873年創業の江見
写真館5代目。写真
館営業の傍ら、ステ
ンドグラスの制作
にも取り組む。



万華鏡の色とりどりの
複雑で対称的なパター
ンを映像で紹介



会場 衆楽園
作品 衆楽植物園

太田三郎氏
東京から妻の実家
がある津山に移住。



植物にネームプレート
を取り付けるプロジェ
クト



会場 ふれあいセンター満奇
作品 新見山

杉浦慶侘氏
自らが育った土地
である岡山で「人間
と自然の関係性」を
テーマに活動が続
ける。

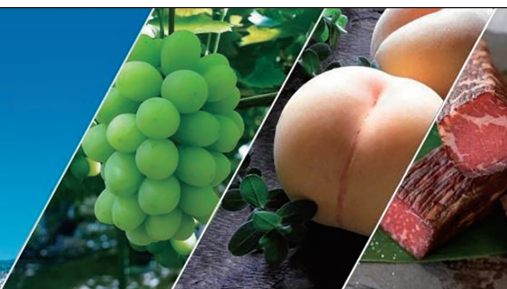


新見市の人工林の
山々を中心に撮影

＜編集後記＞「森芸」は、県北初の国際芸術祭
とはいえ、芸術や美術に興味のない私は、
ワクワクやドキドキは無縁でしたが、ひとたび、
アート作品がお目見えすると驚きの連続。
休日になると西へ東へ県北エリアを周遊し、
特別な時間を過ごすことができました。トリ
エンナーレとなる森の芸術祭ですが、3年後、
レベルアップして開催されることを祈って
います。その時は、皆様ぜひ津山で改めて故
郷の魅力を感じ、リフレッシュしてください。

(公社)津山市観光協会
山本友香理 津山高校平成7年卒

ふるさと納税で、
津山市への想いを
かたちに変えて…



ふるさと納税は、あなたの大切な
ふるさとへの「応援」を形にする制度
です。津山市のふるさと納税では、
地元の名産品や特産品、さらには地域
活性化に繋がるプロジェク
トへの支援ができます。

詳しくはこちら >>



2024年度津山高校同窓会総会が開催されました

2024年8月11日(日)午後1時から、ザ・シロヤマテラス津山別邸で津山高校同窓会の総会、懇親会が行われました。津山も大変な猛暑でしたが、なによりも2日後の13日、14日、津山文化センターで「Koshi Inaba LIVE2024～enIV～」津山公演が予定されており、期待の熱気の中での開催となりました。当日は、稲葉浩志さん(津高34期)が在学中所属していたバンド「ICBM」が復活し、稲葉さん本人の出演はかなわなかったものの、



当時のメンバーで同期の頼経英博さん、小林伸一さんたちにより、往時さながらのすばらしい演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりしました。今回の出演は、2017年に行われたB'zの津山公演の際、「ICBMが復活するなら還暦の時」と小林さんが語った津山朝日新聞の記事がきっかけとなったものです。稲葉さんからはお祝いのお花が届けられ、最後、還暦を迎えた同期の仲間写真撮影をし、久々の再会を喜び合いました。

(神橋一彦 津高34期・昭58卒)



東京作州会が開催されました

第3回「東京作州会」が、昨年11月30日、とっとりおかやま新橋館「ももてなし家」で開催されました。東京作州会は、東京及びその近郊にお住いの作州出身者相互の親睦を図ることを目的として発足した故郷が結ぶ楽しい人の輪の会です。令和元年11月に発足し、第1回の集まりを開催しました。その後コロナ禍のため3年間開催することができませんでしたが、一昨年(令和5年)より再開することができました。お誘い併せてご入会下さいますようご案内申し上げます。次回開催は同じ場所で11月15日に開催の予定です。



- 連絡先：東京作州会事務局
TEL. 080-3096-2177 SMSショートメールでお願いいたします。
(隅田憲平 津高7期・昭31卒)

視聴覚教室アップグレードプランについて

130周年事業として視聴覚教室アップグレードプラン(可動式椅子の新調、プロジェクター・スクリーンの設置など)を計画しています。この計画を推進していくため、卒業生の皆様方の御寄附をお願いしているところです。詳しくは、「ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業」のホームページ



- <https://www.pref.okayama.jp/page/513412.html>
をご覧ください、是非ともご検討ください。
(応援する県立学校名は岡山県立津山高等学校となります。)
その他、「ふるさとチョイス岡山県ページ」
- <https://www.furusato-tax.jp/city/product/33000>
でも手続き可能です。

福島隆壽(成美1期)回顧展のお知らせ

- 開催期間：2025年7月26日(土)～2025年8月11日(月)
- 時間：10:00～17:00
- 会場：津山市立文化展示ホール
- ご案内：<https://tsuyama-geibunhaku.jp/event/480/>

福島隆壽氏は1931年津山市生。幼少期に日原晃画伯に師事、東京藝術大学に学び、卒業後、県内の中・高校で教鞭を取りながら制作発表活動を行い、2回の日展特選に選ばれるなど活躍されました。1979年から鳥取大学、1988年から岡山大学に勤務。2024年11月16日逝去。

株式会社 すえ木工

■ 本社・家具事業部
〒708-0861 岡山県津山市八出 244-1
TEL 0868-23-4481 / FAX 23-4483

■ RIM 事業部

Luumu suemokko (ルウム すえ木工)

■ Luumu suemokko
〒107-0062 東京都港区南青山6丁目1-21
ピロティ南青山 203
Mail: suemokko@suemokko.co.jp

SUEMOKKO

ロイド・ABS・NK・CCS・DNV/GL 船級認定工場

鍛造・木型・熱処理・機械加工

株式会社 光岡製作所

代表取締役 **光岡 宏文**
Hirofumi Mitsuoka

(鍛造技術) (UT-LEVEL 2)

[本社工場] 〒708-0857 岡山県津山市権力16
Tel: (0868) 26-0145
Fax: (0868) 26-5029
E-MAIL: hirofumi@mitsuoka.co.jp
<http://www.mitsuoka.co.jp>
mobil: 090-8719-3406

CREATIVE WEB

株式会社クリエイティブ・ウェブ

イエセレクト

不動産物件管理システム

代表取締役

岡部 倫典
Michinori Okabe

本社
大阪市淀川区東三国2-37-10 EIDAI BLD.9階
<https://www.creative-web.co.jp>

関東同窓会役員・常任委員一覧

会 長	中島 純三(昭42卒)	副会長	芦田 将 (昭61卒)	顧 問	片岡廣治郎(昭35卒)	総務担当委員	河本 倫子(昭54卒)
共同会長	日下 康幸(平4卒)	副会長	峯 ゆりあ(平3卒)	総務担当委員	堀内 慎一(昭42卒)	総務担当委員	國井美由紀(平4卒)
副会長	三村優美子(昭44卒)	副会長	小谷 匠平(平11卒)	総務担当委員	植月 雅文(昭46卒)	総務担当委員	岡本 佳之(平7卒)
副会長	水田 潤子(昭46卒)	副会長	宮島 聡子(平14卒)	総務担当委員	永松 呉葉(昭48卒)	総務担当委員	垣内 真悟(平31卒)
副会長・事務局長	山本 大 (昭49卒)	監 事	赤木 省三(昭41卒)	総務担当委員	山田 雅義(昭50卒)		
副会長	神橋 一彦(昭58卒)	監 事	檜尾 守昭(昭46卒)	総務担当委員	松田 匡司(昭54卒)		

卒業年	氏名
昭 18	高橋 孜子
昭 22	浮田 裕之
昭 22	福井 富枝
昭 26	小賀 由章
昭 28	三宅 寛子
昭 29	原 光穂
昭 29	安藤 美恵子
昭 30	金築 順子
昭 31	白岩 良一
昭 31	大谷 昌子
昭 32	友保 隆晴
昭 33	柿内 扶仁子
昭 34	奥田 恭彦
昭 35	馬場 史郎
昭 36	佐桑 慎二
昭 36	山口 智恵
昭 37	斎藤 正子
昭 37	黒田 悦司
昭 37	大森 慎
昭 37	山本 茂樹
昭 37	泉 昭正

卒業年	氏名
昭 38	井上 忠
昭 39	衣笠 一成
昭 39	安藤 淑子
昭 40	草地 八寿郎
昭 41	佐田 通明
昭 41	蒔田 かをる
昭 42	安藤 三男
昭 42	天池 恵
昭 43	神家 康博
昭 44	栗 二公雄
昭 45	木多 務
昭 45	福田 正志
昭 45	高畠 範真
昭 46	井家上 進
昭 46	大河原 優子
昭 47	有吉 啓子
昭 47	原 雅彦
昭 47	谷岡 宏
昭 48	菱川 英章
昭 49	林 敏彦
昭 49	松下 いづみ

卒業年	氏名
昭 49	福島 瑞子
昭 49	沼本 学
昭 49	野々上 尚
昭 50	田和 一樹
昭 51	佐竹 康宏
昭 51	岡田 恵子
昭 52	角南 元司
昭 53	阿部 達彦
昭 53	山口 ゆりか
昭 53	土屋 尚士
昭 54	河本 倫子
昭 55	内田 達也
昭 55	畑 昌夫
昭 56	山本 進
昭 56	石田 徳子
昭 56	久保 明美
昭 57	照尾 彰教
昭 57	杉原 隆世
昭 58	後藤 かおり
昭 59	安田 明弘
昭 59	片山 政周

卒業年	氏名
昭 60	枝並 輝之
昭 60	山本 敏伸
昭 61	黒田 俊恵
昭 62	岡野 洋士
昭 62	谷口 太郎
昭 63	小山 将良
昭 63	繁定 正典
平 2	中西 孝
平 3	谷口 聡
平 3	宇那木 孝俊
平 4	花村 浩二
平 4	坂本 匡史
平 4	北山 栄美
平 5	徳田 泰二
平 5	久常 健
平 5	磯田 暁男
平 5	山縣 政宏
平 6	若山 圭介
平 6	春名 伸昭
平 7	山下 弘展
平 7	小堀 さとみ

卒業年	氏名
平 7	武藤 由紀恵
平 7	森 亜矢子
平 8	吉田 夕紀
平 8	松本 有希
平 8	内田 沢実
平 9	山口 陽平
平 9	小谷 洋輔
平 10	海前 優美子
平 10	山田 耕平
平 12	井上 裕史
平 22	西本 卓司
平 25	落合 厚
平 26	日笠 比咲子
平 28	藤田 太郎
平 28	石村 遼太
平 31	甲元 昌也
令 2	松田 侑大
令 4	岡田 怜也
令 4	神谷 健太

(2025年6月現在)

- 常任委員ご不在の年度の方は、早急に常任委員を決定しご連絡ください。
- 同期の方の住所等についての問い合わせや住所変更などの連絡は、事務局へお願いします。

2025年度津山高校全体同窓会 ・懇親会@津山のご案内

下記の通り開催いたしますので、お誘いあわせの上ご参加ください。

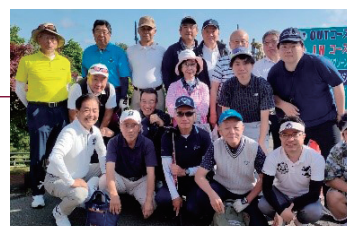
- 日時：2025年 8月10日(日)
総会13:00～ 懇親会14:00～
- 会場：ザ・シロヤマテラス津山別邸
(津山市山下)
- 問合せ先：津山高校同窓会事務局
TEL. 0868-22-2204

津山高校関東同窓会 ゴルフ部のお誘い

毎年5月と10月にコンペを開催しています。これまでに20代から80代の33名に参加いただいています。

5月28日武蔵野ゴルフクラブにて第8回津山高校関東同窓会ゴルフコンペが開催されました。前日からの雨も上がり、汗ばむほどの好天の下、20代から70代の18名が集いました。作州弁も飛びかい有意義に懇親が図れたと思います。

次回は9月22日開催です。



お問い合わせは
世話人の田和一樹(26期)まで。



LINE ID:
kzktw561112

ホステル花庵

松本 薫

090-9320-4721
hana.an.info@gmail.com
〒125-0042 東京都葛飾区金町 4-23-11

昭和 50 卒

北海道三笠市達布 濱田ヴィンヤード
www.hamadavineyard.com

濱田 洋文

ワイナリー：三笠市達布 778-3 Les Vins de Tapcolline
自宅：〒068-2154 三笠市高美町 444-40
冬期宅：〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東 3-3-2-505
携帯：090-8370-9467
E-mail：info@hamadavineyard.com

昭和 50 年卒

真庭市のふるさと
納税にご支援お願いいたします。

皆様からお寄せいただいた寄附金は「ふるさと真庭応援基金」として積み立て、活用させていただきます。

詳しくはこちらから→



謹んでお悔やみ申し上げます

2024年3月から2025年2月までに文書で
お知らせのあった方のみを掲載しています

高女昭 18 年卒 井上 昌子様

津高昭 27 卒 久本 昌夫様

津高昭 36 卒 近藤 達也様

津高昭 37 卒 増田 美子様

増田美子前会長の逝去を悼む

増田さんが亡くなられて一年近くになるが、悲しみや喪失感は今だ癒やされることはありません。増田さんは我が同窓会にとって数々の功績を残された大恩ある人です。まずは、なり手がなかなか見つからなかった会長の職を条件付きではありましたが、引き受けてくれたことです。そして、懸案だった同窓会報の編集長も依頼し、見事に第1号の発行にこぎつけてくれました。この発信力のお陰で同窓会の参加者がかなり安定的に

津山高校関東同窓会顧問 片岡廣治郎

増えました。また、これまで鮮明でなかった関東同窓会の歴史を国会図書館に何日も通い新聞記事をめくりながら調査し、会報の第3号で明らかにしてくれました。同号は永久保存版としなければなりません。

増田さんは日本の服飾史の第一人者としての功績も合わせて、初の女性同窓会長として多くの足跡を残されました。どうぞ安らかに眠りください。ありがとうございました。

2025年度関東同窓会総会・懇親会@東京のご案内

下記の通り開催いたしますので、お誘いあわせの上ご参加ください。

- 日時：日時：2025年9月6日（土）12時より
- 会場：大手町サンケイプラザ
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2
TEL. 03-3273-2230
丸の内線／半蔵門線／千代田線／東西線／
都営三田線「大手町駅」A4・E1出口直結
JR「東京駅 丸の内」北口より徒歩 7分
- 会費：8,000円 学生無料

年会費と活動支援金のお願い

本同窓会は皆様が納入してくださった会費で運営されております。会費納入をしてくださりました同窓生の皆様に感謝するとともに、本会が安定した運営ができますよう会費の納入を今後お願いいたします。また、多くの方々から活動支援金のご寄付もいただいております。

皆様からのご支援は、総会・懇親会での学生無料の継続や、新入生歓迎の集いの運営などに、貴重な活動資金としてたいへん役立っています。今年も年会費に加えて、皆様からの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

関東同窓会だよりの広告募集

関東同窓会だより11号の広告を募集いたします。皆様からの協賛をお待ちしております。

- サイズ：横6.2cm×縦3.8cm
- 協賛金：一口10,000円
- 申し込み締め切り：2025年12月31日
- 申し込み先：事務局 TEL. 080-9985-8892

作品展への出品のお願い

恒例の総会会場での作品展を今年も開催します。絵画・書画・陶器・写真等、皆様の出品をお待ちしております。

- 作品サイズ
絵画：10号程度まで 書画：軸装または半切程度
陶器：5点位まで
 - 申し込み締め切り：2025年8月15日
- ※詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

本年は津山高校創立130周年、津山中学創立10周年を迎えます。昨年8月、津山で行われた同窓会総会に私も参加しましたが、歴史の重み、同窓生のネットワークの広さを感じた次第です。本誌をご覧いただき、改めて関東同窓会の活動にご理解をいただけたら幸いです。

(2025.5.神橋一彦)

編集委員

編集委員長：神橋一彦(昭58卒)

編集委員：堀内慎一(昭42卒) 植月雅文(昭46卒) 水田潤子(昭46卒) 永松呉葉(昭48卒) 山本大(昭49卒) 松田匡司(昭54卒)
河本倫子(昭54卒) 峯ゆりあ(平3卒) 國井美由紀(平4卒) 小谷匠平(平11卒) 宮島聡子(平14卒) 松田侑大(令2卒)

オブザーバー：片岡廣治郎(昭35卒) 三村優美子(昭44卒) 芦田将(昭61卒) 日下康幸(平4卒) 和田有希(平22卒)

表紙題字：光井一輝(平27卒)

津山高校関東同窓会だより 第10号 2025年 発行人 中島純三

津山高校関東同窓会事務局

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-57-2 ボイスインターナショナル（株）内
TEL:080-9985-8892 E-mail:info@tsukou-kanto.com

鏡野町の応援をお願いします
鏡野町
かかみのふるさと応援寄附金
鏡野町ふるさと納税特設サイト

お米・果物・はちみつ製品
豊かな自然に育まれた
お礼の品をご用意しております。

法学部教授
体育会剣道部長
博士(法学)
神橋 一彦
Kambashi Kazuhiko

立教大学
〒171-8501 東京都豊島区池袋3-34-1
Tel. 03-3985-2542 Fax. 03-3983-0174
E-mail: kambashi-k@rikkyo.ac.jp